

2025年2月14日

各位

東京都千代田区外神田 1-18-13  
株式会社エスプール  
(コード番号：2471)  
問い合わせ先：取締役管理本部担当 佐藤 英朗  
TEL：03-6859-5599（代表）

### 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2025年2月14日開催の取締役会において、自社の資本コストや資本収益性を分析・評価し、改善に向けた方針や具体的な取り組みを決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 現状分析

当社は ROE を経営の重要な指標の一つに捉え、ROE が株主資本コストを上回る経営を推進しています。2024年11月期の ROE は 22.9% となり、当社が認識する株主資本コストおよそ 6% を大きく上回る結果となっています。また、2024年11月期の PBR は 2.6 倍、PER は 12.0 倍となりますが、株価の低迷に伴い PBR、PER ともに減少傾向にあり、特に PER の改善には、再度成長期待を抱かせる事業戦略が重要であると認識しています。

#### [財務指標の推移]

	2022年11月期	2023年11月期	2024年11月期
売上収益	26,650 百万円	25,784 百万円	25,554 百万円
営業利益	3,136 百万円	2,777 百万円	2,783 百万円
営業利益率	11.8%	10.8%	10.9%
当期利益(※)	1,954 百万円	1,730 百万円	2,099 百万円
ROE	28.9%	21.7%	22.9%
PBR	10.0 倍	3.7 倍	2.6 倍
PER	38.0 倍	18.1 倍	12.0 倍
期末株価	939 円	397 円	319 円

(※) 親会社の所有者に帰属する当期利益

#### 2. 対応方針

当社は、2025年1月に公表した中期経営計画の着実な遂行を通じて、資本収益性を一層向上することを前提に、効果的な IR 活動を推進し、市場評価の向上と資本コストの改善に取り組んでいきます。

##### (1) ROE が株主資本コストを上回る経営の維持

ROE が株主資本コストを上回る経営を、引き続き推進いたします。具体的には、高収益が見込める 3 事業（障がい者雇用支援サービス、広域行政 BPO サービス、環境経営支援サービス）のさらなる成長に注力し、2029年11月期の連結営業利益 45 億円の達成を目指します。

(2) 株主還元

積極的な事業展開のための内部留保の充実と健全な財務体質の維持などを勘案した上で、連結配当性向30%以上を目標とした安定的な配当を実施いたします。なお、収益目標の早期達成が見込める場合、株主還元の充実・強化を検討いたします。

(3) 資本コストの改善

投資家の予測可能性を向上させることで、リスクプレミアムを縮小し、当社経営への信頼感を得ることを目指してまいります。その実現に向けて、中期経営計画の着実な遂行と業績予想の精度向上により、資本市場との効果的なコミュニケーションに努めてまいります。

(4) 市場との対話を通じた開示情報の拡充

当社は企業価値向上において、株主・投資家との対話が重要であると考えています。2024年11月期は、決算説明会を2回開催、個人投資家向け説明会を5回開催、機関投資家やアナリスト等との個別面談件数は177件となりました。これらの対話を継続しつつ、業績推移の背景や中期経営計画の進捗の把握に繋がるKPIなどの開示を充実させ、成長可能性に対する期待感を醸成してまいります。

以上